

富山県公認心理師協会

地域に貢献できる心理職集団として これからも成長していけるように

嶋野 珠生 [会長] ●富山短期大学

1991年7月に13人でスタートした「富山県臨床心理士会」は、2019年2月に公認心理師と臨床心理士の両資格の会員で構成する「富山県公認心理師協会」として再スタートし、現在、会員数198名（2023年10月7日現在）までに成長しました。長らく地元で心理職養成の大学がなく、新会員の増加は富山に転居等してこられた方によって主に成り立ってきました。しかし、2022年度より富山大学に公認心理師養成コースが設立され、今後新しい公認心理師が富山で誕生することになります。若い会員が増え、さらに当会が発展していくことを期待しているところです。

当会が設立当初から大事にしてきたことが2つあります。1つは、会員同士の顔の見える関係を大切にしながら相互研鑽してきたことです。領域別の13委員会が持ち回りで年5回の定例研修会を、加えて研修委員会が企画運営する5時間ワークショップを年1回実施しています。その他に、医療保健、学校臨床、児童福祉の各委員会が自主的に定期的な継続研修を実施しています。コロナ禍では、事例検討会を行うことができませんでしたが、今年は対面して直接対話しながら事例検討を重ねる会が復活しています。コロナ以前よりも一層、お互いに顔を見て、地域の情報を交流したり互いの事例について語り合ったりすることを通して心理職同士のネットワークを強めていきたいと考えています。

もう1つ、当会が大切にしてきたことは地域とのつながりです。「心の健康出前講座」や「公立学校共済組合メンタルヘルスサポート事業」等、地域の諸団体が主催する事業への協力を長年行ってきました。その中でも富山県厚生部より委託されている「ハートフル保育カウンセラー派遣事業」は当会独自の取り組みの一つです。本事業は2010年に「ハートフル保育専門アドバイザー派遣モデル事業」として開始されました。保育現場に臨床心理士を派遣して、気になる子どもたちについて保育コンサルテーションを行う事業です。2017年度からは正式に事業化されました。現在は子ども園、保育園だけではなく、放課後児童クラブ（学童

保育）にも心理職派遣を行っています。また、2023年度からは、富山県教育委員会の新規事業としてスクールカウンセラー（以下、SC）のスーパーバイザー事業が開始されました。県教育委員会と当会学校臨床委員会は長年定期的な懇談を持ちながら問題意識の共有を図ってきました。このスーパーバイザー事業は、増加する学校緊急支援への体制整備の必要性とSCの資質向上の課題に取り組むために、県教育委員会が新たに予算確保して事業化が実現しました。現在3名の会員がスーパーバイザーとしてSCのバックアップ活動をしています。これら2つの事業いずれも、県の担当課と当会の信頼関係の下に進んできた事業だと自負しています。これからも、地域のニーズに応じていくために会として積極的に取り組んでいきたいと考えています。

ここまで書いてきたところで、令和6年1月1日能登半島地震が起きました。当会へ温かなお見舞いをくださった皆様にこの場を借りて心より御礼申し上げます。これまでは雪を除けば比較的自然災害が少ない、水や海産物など自然の恵みを享受している土地だと認識してきましたが、今回は自然の脅威に目を開かれた思いです。このような時だからこそ、会員一同知恵と力を出し合い、地域の皆様の心の健康に貢献できる職能集団として前進したいと思います。



市内からの
立山連峰



立山みくりが池